

機能要件一覧(別紙1)

機能名称		機能の定義
1. 全般		
1.1	運用環境	オフライン環境のWindowsバージョン10、11で操作できること。また、特別な設定が不要な環境で動作すること。
1.2	操作マニュアル	操作マニュアルは受託者が作成すること。本システムを利用する市職員が、直感的・短時間で操作・機能を理解できるよう工夫すること。
1.3		操作マニュアルのデータをWord等、加工しやすい形で提供すること。また、このデータの転用を許可すること。
1.4	情報セキュリティ要件	セキュリティ対策が本市のセキュリティ基準に則していること。
2 地図情報		
2.1	登録地図	登録地図は標準WMSやGoogleMaps、電子国土(地理院地図)等、「著作権が自由化された地図」もしくは「利用規約に従うことで無償利用できる地図」を使用すること。
2.2	用途地域	本市の用途地域をGISレイヤとして登録し、色別にて視覚的に確認できる機能を有すること。
2.3	メッシュ生成(標準)	用途地域ごとに、「近隣商業地域等の区域内:140m」「市街地及び準市街地の区域内:170m」「準ずる地域の区域内:200m」とするメッシュを生成す
2.4	メッシュ生成(神戸市独自)	本市が指定する位置を基点とする250mメッシュを神戸市全域に一律で生成すること。
3. 機能		
3.1	水利充足率分析	メッシュ内にて消火栓の有無を判別し、有の場合は充足、無の場合は非充足とした分析機能を有すること。
3.2		メッシュ内にて防火水槽、指定水利、その他水利の水量を判別し、合計が40㎡を超える場合には充足、40㎡に満たない場合には非充足とした分析
3.3		水利充足率分析の基準となるメッシュは、用途地域ごとのメッシュと市内一率メッシュの切り替え可能とすること。
3.4		各分析結果を『充足メッシュ/全メッシュ』としてExcelファイル等に出力できる機能を有すること。
3.5		各分析結果をメッシュ色別にて視覚的に確認できる機能を有すること。
3.6	作図	地図上の指定ポイントから指定距離の同心円を作図する機能を有すること。
3.7		地図上の指定ポイントにアイコンを設定する機能を有すること。
3.8		地図上の指定ポイント間の直線距離を計測できる機能を有すること。
4. インポート、エクスポート		
4.1	インポート	地図データは常に最新の情報に更新することを想定し、容易に地図情報の更新が可能な機能を有すること。またはサポート体制を構築すること。
4.2		本市の消防OAシステムから抽出した消防水利に関する情報(CSVファイル、Shapeファイル)をインポート可能な機能を有すること。
4.3	エクスポート	水利充足率の分析結果、作図情報、メッシュデータを各種GISソフトに互換性のあるファイル形式(shp・csv・dxf等)にてエクスポート可能な機能を有す